

■ 外国の子どもの教育に関する参考図書

図書・資料名	著者・編集者	内容
母語で繋ぐ ～子どもと同じ母語をもつ支援者とともに～	日本語教育小委員会「外国にルーツをもつ子どもたちのため将来を考える会」(公益財団法人国際日本語普及協会内)	全国の母語話者支援者に子どもの母語を使った支援についてのインタビューや教育委員会にアンケート調査を行った報告書。
外国にルーツを持つ子どもたちへ 将来へ続く道 夢に向かっていっしょに生きよう	「外国にルーツをもつ子どもたちのため将来を考える会」(公益財団法人国際日本語普及協会内)	外国にルーツを持つ子どもがどのような支援を受けてどのように成長したかの事例集。
国際教育評論 No.9 ＜実践研究＞来日初期のJSL中学生が学校生活に参加するための日本語支援	唐木澤みどり	早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程唐木澤みどり氏の論文。
第9回外国人の児童生徒教育フォーラム報告書	東京学芸大学国際教育センター	テーマ:子どもが見える、子どもが変わる ー子どものつまずきを解消していく教師と専門家との連携ー
第10回外国人の児童生徒教育フォーラム報告書	東京学芸大学国際教育センター	外国につながる生徒の進路選択とその支援をめぐる
第11回外国人の児童生徒教育フォーラム報告書	東京学芸大学国際教育センター	だれでも参加できる外国人児童生徒教育支援ー行政・NPO・学校の境を超えてー

第12回外国人の児童生徒教育フォーラム報告書	東京学芸大学国際教育センター	外国人児童生徒の「心のケア」を考えるーメンタルヘルスの支援体制づくりを目指してー
第13回外国人の児童生徒教育フォーラム報告書	東京学芸大学国際教育センター	ISL児童生徒の学習上のつまずきと支援ー言語・文化・発達の視点からー
平成17年度村山広域在住外国人等子ども日本語習得支援事業報告書	村山広域在住外国人等こども日本語習得支援協議会	子どもの日本語教室の開催、日本語指導担当者研修会、子どもたちの声、支援者の声、生徒を受け入れた学校の声など
「日本語を母語としない児童生徒と保護者を対象とするアンケート調査」	山形県	山形県内でのアンケートによる実態調査。
イチからはじめる 外国人の子どもの教育	臼井智美 教育開発研究所	学校の先生たち向け。外国人の子どもの指導に困ったときの実践ガイド。
「移動する子どもたち」と日本語教育 日本語を母語としない子どもへのことばの教育を考える	川上郁雄 明石書店	早稲田大学大学院日本語教育研究科で行われた年少者日本語教育の実践研究をまとめたもの。バンドスケールの考え方も掲載。
異文化に暮らす子どもたち ことばと心をはぐくむ	早津邑子 金子書房	文化や生活習慣、言葉の違いなどをはっきり理解できない年齢の子どもたちが味わう恐怖や違和感。外国に住む日本人の子どもたちのニーズとアメリカの幼児教育の現場について。

移民の子どもと学力 社会的背景が学習にどんな影響を与えるのか	明石書店	OECD刊行のWhere Immigrant Students Succeed: A Comparative Review of Performance and Engagement in PISA 2003の翻訳と「生徒の学習到達度調査」の国内結果をもとに移民の子ども の社会的背景や学校での使用言語という観点から2次分析した研究成果。
外国人児童・生徒教育への取り組み	中西晃・佐藤郡衛 教育出版	外国人児童生徒の学校での適応に関する研究成果と実践事例。
外国人児童・生徒と共に学ぶ学校づくり	梶田正巳・松本一子・加賀澤泰明 ナカニシヤ出版	主に愛知県豊橋市の教員たちが執筆した指導事例が多数載っています。
外国人児童生徒のための支援ガイドブック —子どもたちのライフコースによりそって	齋藤ひろみ・今澤悌・内田紀子・花島健司 凡人社	5人の外国人児童生徒のライフコース紹介。各エピソードには問題解決のヒントになる情報が載っています。後半は学校での日本語指導内容や授業計画の立て方などが載っています。
外国人生徒のためのカリキュラム	清水睦美・児島明 嵯峨野書院	インドシナ難民が多く住む下福田中学校(神奈川県大和市)での教育実践について書かれている。教師、研究者、ボランティア、通訳地域の外国人青年たちの声がつづられている。
外国人の子どもと日本の教育 不就学問題と多文化共生の課題	宮島喬・太田晴雄 東京大学出版会	外国人の子どもへの教育行政や子どもたちの学習、就学の困難を惹起する社会的文化的条件についての調査研究。
「ガイジン」生徒がやって来た	高橋正夫・シャロンS. バイパエ 大修館書店	日本の学校における外国人の子女教育に関する生の声が多く掲載されています。

学習言語とは何か ―教科学習に必要な言語能力	バトラー後藤 裕子 三省堂	学習語彙の一覧が巻末についています。
「9歳の壁」を越えるために 生活言語から学習言語への移行を考える	脇中 起余子 北大路書房	聴覚障害教育の専門家の著書ですが、外国の子どもへの日本語教育の参考にもなります。役に立つ手法も掲載されています。
国際結婚と子どもたち 異文化と共存する家族	新田文輝 明石書店	日本の在住している国際結婚家族のうち特に日本人男性とアメリカ人女性の家族に焦点を合わせて書いた論文に手を加え、日本語に翻訳したもの
子供の異文化体験 人間形成過程の心理人類学的研究	箕浦康子 新思索社	海外で暮らす日本人駐在員の子どもたちの実像とその人格形成過程を追跡調査。子どもたちがいつごろ、どのようにして文化を自分の中に取り込み自分の心を作っていくのか、その過程に関わる要因は何かを考える。
サードカルチャーキッズ 多文化の間で生きる子どもたち	デビッド・C. ポロック ルース＝ヴァン・リーケン スリーエーネットワーク	多文化の間を移動し生きる子どもたちの心理について
多文化共生社会の保育者 ぶつかってもだいじょうぶ	J. ゴンザレス＝メーナ 北大路書房	保育の現場で、お互いの価値を認め合うことの大切さに気づき、それぞれが変わっていくこと目指します。
マルチ能力が育む子どもの生きる力	トーマス・アームストロング 小学館	『学習障害』や『注意欠陥障害』というレッテルを貼られた子どもたちに彼らの秘めた能力を呼び起こす方法について

多文化共生の学校づくり	山脇啓造・横浜市立いちょう小学校 明石書店	約半数の児童が外国にルーツを持つ子どもだった 小学校の記録
多文化に生きる子どもたち 乳幼児期からの異文化間教育	山田千明 明石書店	台湾、韓国、中国、日本で、幼児教育についての フィールドワークを実施。「異文化間教育」と「発 達」をクロスさせて考える。
日本生まれの外国につながる子どもたち ～どうやってサポートすればいいの？～(ガイドブッ ク) http://www.kifjp.org/shuppan/guidebook	かながわ国際交流財団	日本生まれの外国にルーツを持つ子どもたちを一 般の教室に迎える小学校の先生方の参考に。
外国につながる子どもがホッとする授業づくり ～教科書を活用したアイデア集～(ガイドブック) http://www.kifjp.org/shuppan/guidebook	かながわ国際交流財団	小学校の生活科・社会科の教科書を参考に、子ど もたちが多文化化が地域に気づき、豊かな学びが でき、同時に外国につながる子どもたちをサポート できる授業作りの在り方について
外国につながる子どもの未来を支えるために ～5年後、10年後を見据えて成長を見守るヒント ～(ガイドブック) http://www.kifjp.org/shuppan/guidebook	かながわ国際交流財団	外国につながる子どもの課外解決には学習面で の支援だけでなく、支援者がそれぞれの子どもた ちの文化や価値観を理解・尊重しながら、日本で の将来の見通しを示していくことも重要。
あるあるマンガでよむ 外国につながる生徒の高校進学サポートガイド ～困ったときの10のヒント(ガイドブック) http://www.kifjp.org/shuppan/guidebook	かながわ国際交流財団	外国につながる子どもたちの高校進学の事例や 支援のための情報。